

ICT教育推進へ連携

愛教大とソフトバンクが協定

刈谷市の愛知教育大とソフトバンク（東京都）は、相互連携協定を結んだ。月二十八日、ICT（情報）同社が教育大学と協定

を結ぶのは初めて。昨年十月に学内に完成した「次世代教育イノベーション棟」の披露で、同社の人型ロボット「Pepper（ペッパー）」を実演、紹介したことがきっかけとな

った。

協定は六項目。両者はICT教育の情報共有と共同研究をはじめ、オンライン遠隔授業やペッパーを使ったプログラミング教育を推進。高度授業支援員の育成を図る。高速大容量の次世代通信規格「5G」の教育への利活用も研究する。

愛教大で締結式があり、協定書に署名した後藤ひとみ学長は「イノベーション棟を拠点にICT教育を発信していきたい。ソフトバンクの協力で可能性は大きく広がる」。同社の永田稔雄執行役員は「子どもの主体的な学びや豊かな生活を皆さんと支援できたら」と話した。（神谷慶）



ICT教育推進に向けて協定書に署名した後藤学長と永田執行役員。刈谷市の愛知教育大で